

公益財団法人

栃木県ひとり親家庭福祉連合会



宇都宮市野沢町4-1

TEL 028(665)7806

発行人 栗橋幸子

印刷所 高橋平版社

白梅

ごあいさつ

栃木県保健福祉部長
岩佐 景一郎



栃木県保健福祉部長
の岩佐でございます。

「白梅」の刊行に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

栗橋会長をはじめ、理事の方々や会員の皆様には、ひとり親家庭等の方々の生活の安定と福祉の向

上に向けて、日頃から、一方ならぬ御尽力をいただいております。改めて深く感謝を申し上げます。

また、昨年十月六日の「第七十七回関東地区母子寡婦福祉研修大会」では、県内外から多くの関係者のご出席の下、盛大に開催されましたこと改めてお祝い申し上げます。

さて、令和五(二〇二三)年七月に公表されました令和四(二〇二二)年国民生活基礎調査により、児童のいる世帯の平均稼働所得が七十二万円であるのに対し、母子世帯は二七一万円と大きな差があり、ひとり親世帯の四四・五%が相対的貧困世帯である

など、ひとり親世帯の生活は依然として厳しい状況にあります。

このところの食費等の物価高騰により、とりわけ一人で子育てを担うひとり親家庭への影響が心配な状況です。

県といたしましては、令和七(二〇二五)年三月に策定した「栃木県子どもまんなか推進プラン」に基づき、ひとり親家庭への支援と貧困の世代間連鎖を防ぐため、高等職業訓練促進給付金等の各種給付金事業、貸付金事業や母子家庭等就業・自立支援センター事業の実施など、各種支援策に積極的に取り組むこととしております。

今後も、貴連合会と連携しながら、ひとり親家庭への就労支援等、各種事業の効果的な実施に向けて取り組んで参りますので、引き続き御協力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会におかれましては、ひとり親家庭の総合的な福祉を推進する県内唯一の母子・父子福祉団体として、ひとり親家庭の生活の安定と向上のため、より一層御尽力いただくことをお願い申し上げますとともに、栃木県ひとり親家庭福祉連合会の今後益々の発展を御祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

ごあいさつ

栃木県ひとり親家庭福祉連合会
会長 栗橋 幸子



第七十七回
関東地区母子寡婦福祉
研修大会を
無事成功裡
に終わることが出来ました。これ

もひとえに会員の皆様を始め、関係機関並びに各団体のご理解、ご支援を賜ったおかげと深く感謝申し上げます。また、母子部の活躍も心強く思いました。

さて、四月は新たなスタートを切る季節です。会員の中には、お

子様が進学、就職をし一段落という方もおられると存じます。しかし、子育て真最中の若いお母さんから、最近「先が読めない不安」「物価高騰が余りにも急激で高率」「節約にも限界がある。特に食品の高騰は食べ盛りの子どもがいるので悲しくなる」と言う声を聴きました。「今までとは違う！」相対的貧困から絶対的貧困へ、ジワジワ移行している実感を強く感じます。(しかも米不足でフードバンクからお米がなかなか届きませんでした)

国が「子ども目線の政策」を進め、県も「こどもぎゅーっとちぎ」を掲げ、こどもや子育てに優しい栃木県を目指した施策をPRしています。しかし、格差の是正、

ひとり親家庭特に貧困施策は追い付けないのが現状です。児童扶養手当につきましても、賃金を超える物価高にも拘わらず、三十年前と比べ所得制限額は横ばい、支給額は物価高に追いつけないでおります。今後とも皆様の声と現状を国や県に届け、改善されるよう活動してまいります。

また、ひとり親家庭の大きな心配事の一つが教育です。教育の無償化、特に高等教育の無償化が進められ光が見えてきましたが、所得額の低いひとり親世帯の子ども達は、一旦学力が落ちると塾等での補習が望めないため学習意欲が低下する傾向がみられ、高等教育の無償化が整っても進学率が伸びないのではという懸念があります。

その対策として、子どもが学習で躓いたとき支援できる制度が必要と思われまます。県ひとり親家庭福祉連合会では県内三か所ので無料学習塾を開催しており、まさにその問題を補完する事業と考えております。

底辺を支えることは福祉の原点です。今年もローソンの「夢を応援基金ひとり親家庭支援奨学金制度」の募集が始まります。国や県だけでなく、団体や企業が行っている様々な制度の恩恵を受け、一人でも多くの子ども達が、自分の夢の実現に向けて羽ばたけるよう皆様のご支援を賜りたいと存じます。

第七十七回 関東地区母子寡婦福祉研修大会

令和六年十月八日(日)に、ライトキューブ宇都宮中ホールで二百二十名の参加のもと開催されました。行政説明に始まり、シンポジウム、講演、と盛り山の内容でした。

日光市 山口 絹江

栃木県としては、平成二十一年以来十五年ぶりの開催となり、開催県代表として栗橋幸子会長が挨拶をし、全母子協副理事長滝本美津代氏に挨拶を頂き、宇都宮市長、栃木県知事代理、議員の方に挨拶を頂きました。行政説明は、こども家庭庁課長補佐竹内宏和氏のひとり親家庭等への支援施策の話、シンポジウムは六名の発表がありました。千葉県の伊藤美桂子さんの発表ではハローワークの利用で短大に二年通い保育士・幼



稚園教諭免許を取得し、ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付金、保育士就学資金の制度の申請が遅れた為、制度を利用できなかった。助言者からも行政の窓口で相談の強化を更に図って欲しいとの事。新潟県の石山清花さんの発表では、離婚前だが無料の弁護士相談をひとり親会から紹介してもらい助かった。静岡県の組谷智之さんの発表では、父子家庭の私に湖西市ひとり親会で、寡婦会がやってる学童保育に入れ助かったとの事。

講演は鹿島田千帆氏の講演。大学卒業後、エフエム栃木に入社、働きながらひとり親として子供を育てた。多くの仕事仲間やひとり親



の友人に助けられた。子供とは、寝る前に一日の出来事をお互いに話したり本の読み聞かせをしてスキンスキップをした。忙しいのはラッキー、相手を気持ちよく行動させるための声掛け、出来ないと思ってる人は出来ないし決めている人は、人生まだまだ可能性がある、望む力をあきらめないでと話していた。私達はひとり親が安心して仕事と子育てが両立できる社会をこれからも目指していきたいと思っています。



第30回 栃木県民福祉のつどい

令和6年8月29日(木) 栃木県教育会館大ホール 13:30~

知事表彰を受けて

足利市 常見 正江

第三十回栃木県民福祉のつどいに於いて、母子家庭等支援功労者で知事表彰を頂き大変光栄に思っております。

母子家庭になった時には、高校生、中学生、幼稚園と三人の子供がおり、小山に住んでおりました。その後三番目の子供が小学校に入る時に足利市に帰ってきました。その時に母子会からお祝いに、図書券を頂き、母子会の事を知り、その後入会しました。入会してから、色々な行事に参加させて頂き、楽しくすごさせて頂きました。現在は母子会で役員をしています。

今後とも皆さんのお手伝いをしていけたらと思っています。この度は、知事表彰ありがとうございました。



会長表彰を受けて

真岡市 谷口 愛子

第三十回栃木県民福祉のつどいにおいて、母子寡婦福祉関係功労者六名を代表して栗橋会長より会長表彰を受賞させて頂きました。真岡からは二名受賞させて頂きありがとうございました。今年はコロナも緩和され栃木県教育会館大ホールでの授賞式になりました。

息子が手から離れたと思った矢先、今度は自分の会社にリストラがあり、私も希望退職をしました。その頃、五十肩で通院して良くなったことがきっかけで、自分もこの仕事をやりたいと思い、カイロプラクターの資格を取得し仕事を始めました。並行して母子会にも参加するようになり二十二年が経ちました。現在は仕事を続けながら、母子会の会長もやっていますので、役員・会員さん方には何かとご不便、ご迷惑をお掛けしておりますが、皆さんの暖かいご支援とご協力のおかげで今日があります。本当に感謝しかありません。これからも母子寡婦福祉会の一層の発展の為に努力していきたいと思っております。



県民福祉のつどい 表彰者

第30回栃木県民福祉のつどいにおいて、永年の母子寡婦福祉の功労により次の方が表彰されました。

《栃木県知事表彰》

母子家庭等支援功労者

足利市 常見 正江
真岡市 古橋ミチイ

《会長表彰》

母子寡婦福祉関係功労者

真岡市 谷口 愛子
真岡市 岩下 晴美
小山市 国府田芳江
足利市 酒巻 恵子
栃木市 桑原左千恵
那須烏山市 滝田 清子

~ おめでとうございます ~

地区 だより

那須塩原市



高橋 美代子

十二月二十二日、日曜日、那須塩原市の長寿センターにてクリスマスケーキ作りを実施しました。参加者は、大人二十二名、子供三十名、うち会員八名でした。

それぞれ個性のある素敵なケーキが出来上がり、楽しいケーキ作りとなりました。その後、ビンゴゲームをして、子供さんが「ビンゴ！」と言って元気に声を上げて景品を手にした姿を見てお母さん達も嬉しそうにしていました。ビンゴゲームの後は、おいしいお弁当をお持ち帰り頂き、協賛品で頂いたお米と化粧品などもありました。とても有意義で楽しかったです。あの事業が出来ました。ありがとうございました。



観光案内

よつこそ鹿沼へ

中條 隆子

栃木県の県央西部に位置する鹿沼市は、人口九万人ほどで、西北部の山々からいくつもの清流が市内を流れている、とても自然豊かでのどかな街です。

その魅力に気付いたのか、最近では「移住におすすめの街」として紹介されることが多くなりました。空き家や古民家を改修して新たな店舗が誕生しており、少しずつ街が賑やかになってきています。自然を探索しながら、オシャレな古民家カフェや雑貨店を巡る、そんな楽しみ方ができるようになりました。

また、美味しい水と栄養豊富な土で育てられた名産品もたくさんあります。みなさんご存知のいちごはもちろん、ニラ、なし、そばに鹿沼こんにゃく。どれも鹿沼市が誇る自慢の逸品です。また、新たな名産品として鹿沼シウマイもあります。宇都宮の餃子も美味しいですが、ぜひ鹿沼にもシウマイを食べに来てください。

そして秋になると、ユネスコ無形文化遺産に登録されている、鹿沼秋祭りが開催されます。華麗な彫刻を施した囃子屋台は、町ごとに飾りやお囃子が違うので、毎年来て飽きることはありません。

鹿沼市の魅力はまだまだまだたくさんあります。ぜひ一度遊びに来てください。



受講生の声

①

初任者研修を受講して

Y・T

ひとり親家庭福祉連合会で就業支援として、初任者研修の講座があるのを知り、チャンスがあれば受講し福祉のお仕事をしていきたいと思い応募させていただきました。

講座は週一回、約四ヶ月でした。最初は慣れない座学が続きレポートの提出に追われてこのまま続けられるのかと不安にもなりました。通い始めてから同じ講座に通う方達と仲良くなり講師の方にも恵まれて、みんな励まし合いながら勉強してきました。事務局の担当の方の励ましもいただき、だんだんと研修日が楽しみになりました。

今まで介護の経験も知識もなかったのに新しく得られた知識は自信にもつながっていききました。無事に研修を終え資格取得でき、福祉の仕事に就く事ができました。

この研修で資格だけでなく、大切な仲間もできました。事務局の担当の方、講師の方と一緒に勉強した仲間の皆様に感謝しております。

受講させていただき、ありがとうございました。

医療事務講座を受講して

S・K

私がこの講座を知ったきっかけは、ひとり親家庭福祉連合会での就業支援のパソコン教室でした。担当の方とパソコンを学んでいる過程で思ったより進みが早く、今後の話をしていくうちに担当の方から医療事務講座を受けてみないかと薦めていただきました。私自身、学びたいと思っていた講座で今まで仕事や育児で余裕がなく断念していたので、この機会に是非とも資格を取得したいと思い応募させていただきました。

受講初日、説明会でテキストを渡され中を見た時は、専門用語も多く少しだけ医療知識も必要だと知り週一回の通学講座でついていけるのか不安を感じていましたが、同じ教室の仲間や講師の方にも恵まれ良い環境で学ぶ事ができました。途中、子供の体調不良等でやむを得ず欠席になる際にも柔軟に対応していただき感謝しています。分からない問題も仲間や講師の方が個別に対応してくださり最後まで楽しみながら学ぶ事ができ、思い切った応募して良かったと思います。

今後、試験に受かり資格を取得できたら就職活動に役立てたいと思います。

今まで支え応援していた、大切な事務局の方、講師や仲間、家族には感謝しています。ありがとうございました。

受講生の声

②

実務者研修を受講した感想

鈴木 典子

私はひとり親家庭で三人の子供を育てています。子供が一人、二人と高校を卒業していき、児童扶養手当がもらえなくなってきたので今のままの収入でやっていけるのか？とても不安になって資格を取りたいと思い調べていたところこちらの支援を知りました。受講料が高く諦めていた資格がテキスト料だけで受講できる!!あと一年で児童扶養手当がもらえなくなるから今が最後のチャンスかも!!とわらにもすがり気持ちで申し込みました。最初はキャンセル待ちでしたが意外にも早く受講できるとの連絡がきてお願いしました。受講前はドキドキしましたが同じコースを受講したのは四人。しかも全員こちらの支援での受講生と知りとても安心しました。仕事をしながら毎週通うのは大変でしたが有意義な時間が過ごせました。実務経験はあったため介護福祉士国家試験にも挑戦しました。子供が自立していくのを嬉しい反面、これから自分一人ですべてやっていこうかと不安な部分もありましたが、資格を取得し少し自信ができました。そしてもっとスキルアップしていきたいと思うようになりました。受講中も定期的に連絡もくんだり寄りそってくれました。ひとり親家庭福祉連合会の支援を受けて良かったと思います。皆様感謝します。ありがとうございます。

家庭生活支援員養成研修を受講して

谷部 靖代

四日間の受講と半日の保育実習を最終無事に「修了証書」を頂くことができました。受講生が飽きないようにとグループディスカッション、体操などを取り入れてくださったこともあり、とても楽しく、興味深く、夢中になりました。先生方に感謝です。ありがとうございます。

保育実習では、ありがたいことに全クラスを見学させて頂け「幼児期の発達について」学習したことを復習するのよう、年齢ごとの発達状況を見ることができ、又、小さい子供達と接する機会がなくなっていましたので緊張していましたが、どのクラスも笑顔で迎えてくださり、「元氣」というプレゼントを頂いたこと、とても充実した時間を過ごせたことに感謝です。保育園の先生方、お世話になりました。ありがとうございます。

今回学ばせて頂いたことは、私自身の人生を振り返り、見つめ直すことも出来ました。「心も体も健康」を常に意識し、バランスのとれた食事を心掛け、適度な運動、適度に趣味を楽しむ私の人生を爽りあるものにするに、より、多様化してきた社会の中で戸惑うことなく、自信を持って支援できるのではないかと思います。素晴らしい研修を受講させて頂き本当にありがとうございました。

令和7年度行事予定

- ・ひとり親家庭福祉研修大会
7月6日(日)
- ・栃木県民福祉のつどい
8月21日(木)
- ・関東ブロック研修大会
千葉県千葉市
9月28日(日)
- ・全国研修大会
鳥取県米子市
11月22日(土)～23日(日)
- ・サポーターのつどい
11月9日(日)
- ・家庭生活支援員養成研修
1月～2月

お知らせ

オーケストラ「未来」様よりご寄付をいただきました

8月18日(日)栃木県総合文化センターにて開催されましたオーケストラ「未来」第2回演奏会のチケット売上金からご寄付をいただきました。

小太刀薫団長様と斎藤美津子副団長様が当連合会の事務所に現金と目録を届けてくださいました。

誠にありがとうございました。



編集後記

令和六年度は、県としても大きな事業でありました関東地区母子寡婦福祉研修大会が宇都宮のライオンキープ中ホールで開催されました。事務局始め、各地区の役員さん本当にお疲れ様でした。その後社会では首相が代わり、物価は高騰し寒さが厳しくなるのに、燃料は一気に値上がりしました。

そんな中正月を迎えましたが、無くても良い食べ物を買わないで年始をむかえました。我が家だけかなあと、今になって考えさせられています。今後更に厳しくなると思つて居りますが、ひとり親家庭の皆さんもめげずに頑張つて欲しいです。悩み事は各地区の担当者に声掛けをして下さい。

〈広報部会〉

- 高田・山口・国府田
- 森島・板橋・大野・森田
- 織田

事務局の異動

退任 事務局長

釜野井康司

新任 事務局長

若林 勇

「白梅」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

